

| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名                                |
|-----------|-----------|-------------------------------------|
| 50 大修館    | C II 710  | Crossroads English Communication II |

## 編集の趣旨

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

#### (1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの概要や要点、話し手や書き手の意図を把握することができるように、確認問題を充実させた。
- ・ 読んだことの内容を整理し、自分のことばで伝えることができるよう、リテリング（再話）やノートテイキングの活動を充実させた。
- ・ 聞いたり読んだりした内容やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・ Unit全体のテーマに関するトピックについて、調べて発表する活動を盛り込んだ。

#### (2) 重要なテーマについて多様なインプットを与える。

- ・ 高校生に考えてほしい重要なテーマをトピックとして選び、多様で多角的な視点をもったインプットを与えるために、7つのUnitで2つずつのリスニング教材とリーディング教材を用意した。
- ・ 特に「聞くこと」を充実させるために、まとまった内容と分量のリスニング教材を用意した。

#### (3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

- ・ 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造の解説や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解させる工夫をした。
- ・ 話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

#### (4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・ 生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・ Unit内のそれぞれの言語活動が有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・ 活動のステップを明示化し、具体例を示すなど、活動を行う上での支援を多く与える工夫をした。
- ・ 写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。
- ・ 二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカード、外部資料などを利用することができ、主体的、自律的な学習が可能になるよう工夫した。

### ■各Unitの構成■

#### (1) 導入ページ

- ・ Goals of This Unit：そのUnitでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・ What do you think?：写真を見ながら、今から学習するテーマに関わる問いについて考えて話し合う活動。
- ・ QRコードからテーマに関する外部資料を利用することができる。

## <Part 1>

### (2) Listen Up 1

- ・短めの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist（概要）・Detail（詳細）のアイコンを付した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。

### (3) Passage 1

- ・約270～370 wordsの短い英文を読む活動。音読活動やリテリング活動につなげられるように、文構造や語彙の負担が少なくなるよう配慮した。
- ・英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・ウェブサイト上の資料を読む、チラシを読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・Language Focusで取り上げる文法事項・文構造は「LF」マークで示した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。
- ・Key Words：Passage 1の読解においてキーとなる語句を明示した。右ページに意味と使い方を確認する活動を用意した。
- ・New Words & Phrases：Passage 1の新出単語と発音記号、重要フレーズをまとめた。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・Comprehension 1：Passage 1の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。生徒の負担を軽減するため選択式とし、設問の意図を明示するために、Gist（概要）・Detail（詳細）・Inference（推測）のアイコンを付した。
- ・Summary：Passage 1の内容を伝えるリテリング活動。ヒントとなる写真やキーワードを示した。
- ・Express Yourself：Passage 1に関連するトピックについてペアやグループなどでやり取りをして、考えを伝え合う活動。

## <Part 2>

### (4) Listen Up 2

- ・まとまった長さの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・Pre-listeningとして、これから聞く内容に関する問いやキーワードを確認する設問を用意した。
- ・内容を確認するための選択式とキーワードを書き取る設問を用意した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist（概要）・Detail（詳細）のアイコンを付した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。

### (5) Key Words

- ・Passage 2のキーワードを確認しながらその内容を推測する活動。

### (6) Passage 2

- ・約560～750語のまとまった長さの英文を読む活動。
- ・英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・インタビュー記事を読む、異なる立場の意見を読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・Language Focusで取り上げる文法事項・文構造は「LF」マークで示した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。
- ・傍注：Passage 2の新出単語と発音記号、重要フレーズを示した。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・Comprehension 2：Passage 2の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。設問の形式は、㊶True or False、㊷選択式、㊸Q&A、㊹キーワードの書き取り（ノートテイキング）、とバラエティを持たせた。選択式の問題については、設問の意図を明示するために、Gist（概要）・Detail（詳

細)・Main idea (パラグラフの主題)・Inference (推測)のアイコンを付した。

- ・ Activity : Passage 2の内容を踏まえながら、自分の感想や考えなどを伝える言語活動。具体的な使用場面を意識した活動を設定した。

### ＜まとめの活動＞

#### (7) Language Focus

- ・ Passage 1とPassage 2に出てくる重要な文法事項・文構造について、その形・意味・使用場面を示し、例文を付した。
- ・ その言語材料が使われる目的や場面を理解させるため、USEのアイコンで使用場面の解説をした。
- ・ Quick Check : 扱われた文法事項・文構造について、形や順序などを確認する設問。

#### (8) Language Use

- ・ Language Focusで扱った文法事項・文構造を確認するための設問。
- ・ その言語材料が使われる目的や場面、状況を理解させるため、具体的な場面を設定して、それに対する応答を考える設問、対話の流れをつかんで応答する設問とした。

#### (9) Vocabulary Review

- ・ Passage 1とPassage 2に出てくる重要語句について、その意味を理解して英語での定義を確認する設問。

#### (10) More Information (コラム)

- ・ Unitで扱った題材をより深く理解するためのコラム。

#### (11) Project

- ・ 全体のテーマに関するトピックについて、調べた情報をまとめ、自分の意見や感想を交えて発表する言語活動。
- ・ QRコードから活動例と関連した外部資料を利用することができる。

### ■Unit以外の教材・資料等■

#### (1) Supplementary Reading

- ・ 約700～1080語の読み物教材を3本用意した。
- ・ Comprehension : 内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。設問の意図を明示するために、Gist (概要)・Detail (詳細)・Inference (推測)・Main idea (パラグラフの主題)のアイコンを付した。
- ・ QRコードから本文の音声と新語の音声・フラッシュカードを利用することができる。

#### (2) Story Reading

- ・ 約1860語の長い物語文を用意した。
- ・ Comprehension : 内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。
- ・ 側注にリーディング・ポイントを示し、生徒が自力で読むための支援を施した。
- ・ QRコードから本文の音声と新語の音声・フラッシュカードを利用することができる。

#### (3) Column

- ・ 英語の学習法に関するコラム。

#### (4) Information Box

- ・ Unitで扱った題材についての背景知識を深めるためのコラム。

#### (5) Phrases & Examples

- ・ Passage 1とPassage 2に出てきた重要フレーズをまとめ、その例文を付した。

#### (6) Word List, Phrase List

- ・ 新語と重要フレーズのリスト。